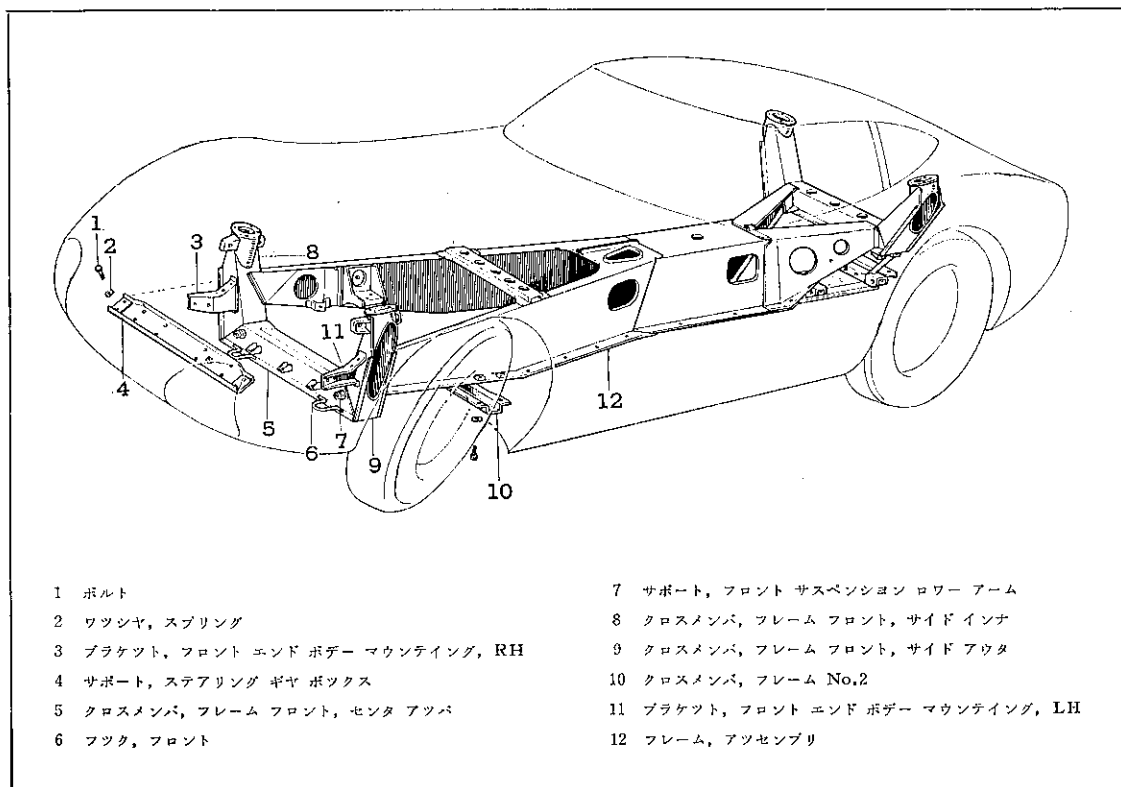


## フレーム

構成部品.....	13—2
損傷の点検.....	13—2
き裂の修理方法.....	13—2
フレーム アライメント点検 .....	13—2



## 構成部品



第13-1図 フレーム構成部品

Y5296

## 損傷の点検

下記の項目について点検し、不具合箇所があれば修正する。

- 1 フレーム メンバ；き裂，ねじれ，曲がり
- 2 溶接箇所；き裂

## き裂の修理方法

き裂の再発生を防ぐため，き裂の末端に3～4mm程度のドリルで穴をあける。き裂の周辺をサンドペーパー等で充分きれいにし，できればグラインダー等でV字形に削り，電気溶接する。

## 注

- 1 ガス溶接では局部加熱の範囲が広くなり，フレームに溶接ひずみが生ずる。  
き裂が相当大きな場合には，フレームの板と同じ厚さの補強板を作り，これを電気溶接する。
- 2 補強板の両端は斜めに切り，応力の集中を防ぐ。修正後さび止め塗装をしてふしよくを防ぐ。

## フレーム アライメント点検

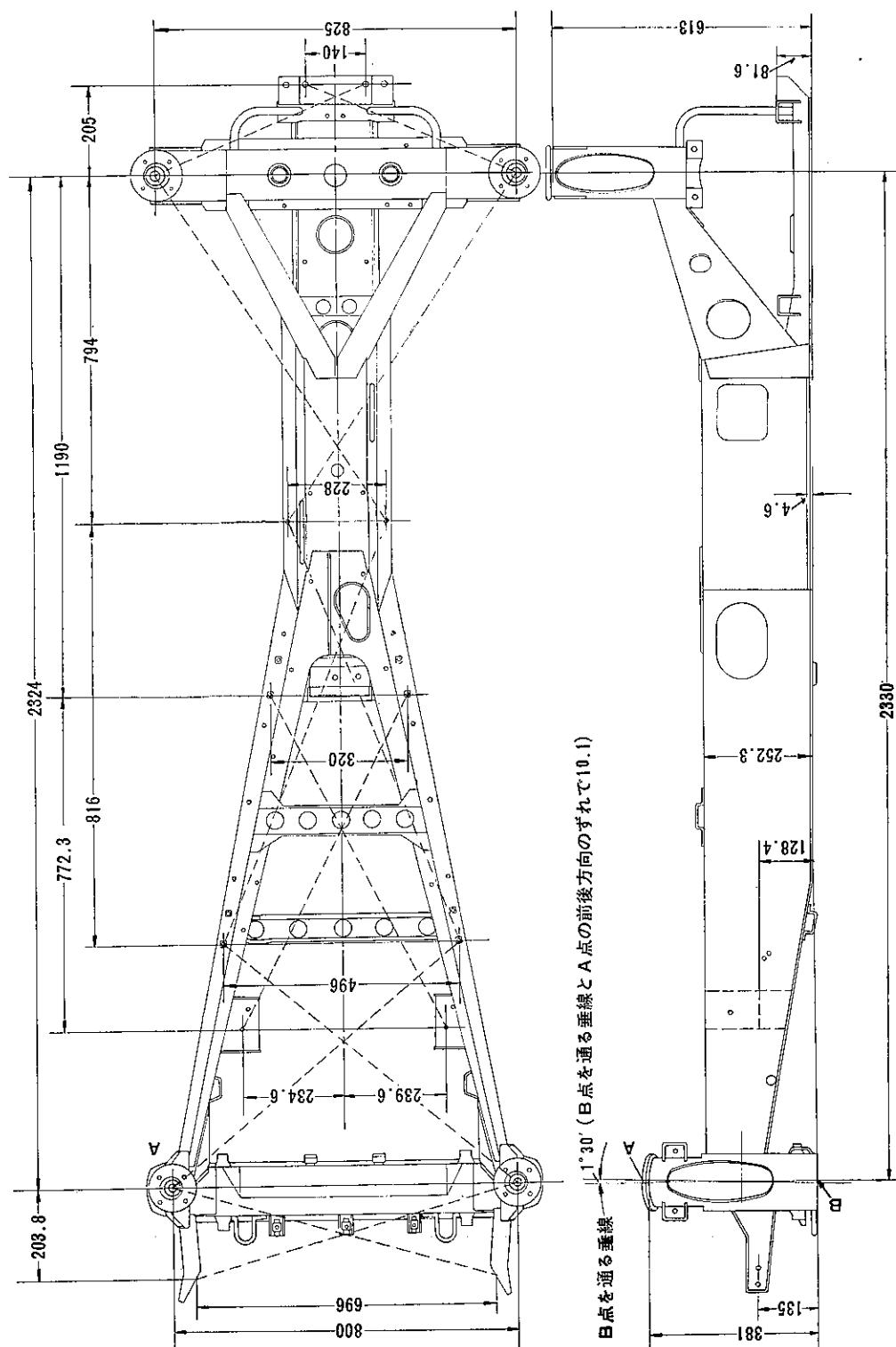
事故等で車両を衝突させたり，転覆させた場合等にはフレームが曲がったり，ねじれを生ずることがあるから，フレーム アライメントを点検しなければならない。（第12-2,3図）

注 同時にステアリング，フロント アライメント関係も点検する必要がある。

## 対角のチェック

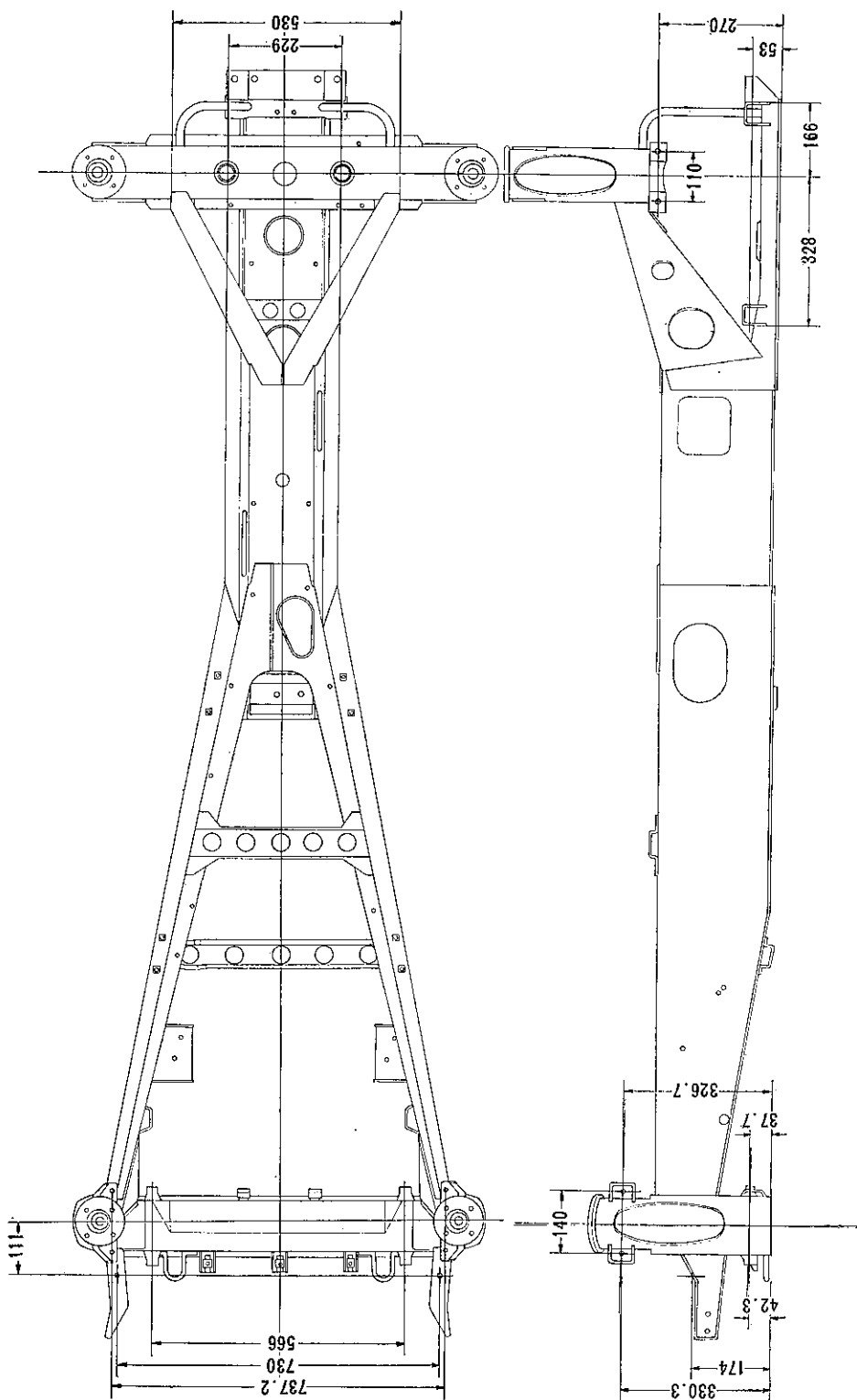
- 1 車を平坦できれいな床の上に置く。
- 2 フレームの各主要部からおもりをおろし，床上に印をつける。
- 3 車を取り除き，床上にしるした各ポイントを第13-2図のように結ぶ。  
それぞれ対応する寸法を比較し，寸法差が著しく大きい場合にはこれを修正する。

無断複製禁止



第13-2図 フレーム アライメント (ボデー取り付け関係)

Y5297



第13-3図 フレーム アライメント (サスペンション関係)

Y5298